

令和 7 年度  
事業計画書

社会福祉法人 山王平成会

## 目次

法 人 本 部	.....	1
ごしよの保育園	.....	4
かわしり保育園	.....	13
阿久和保育園	.....	20
西柴保育園	.....	29
上永谷西保育園	.....	37
阿久和キッズ	.....	44

# 令和 7 年度

## 社会福祉法人 山王平成会

### 法人本部 事業計画

#### 1. 基本方針

皆様が法人理念、保育理念に則り誠実に保育運営に取り組んで頂いたおかげで、大きな事故、怪我等もなく年度末を迎えることができた。またコロナ禍以降、再び地域貢献活動にも精力的にご尽力頂いたおかげで、保育園が情報発信の中心となり近隣に明るい幸せの輪が年々広がっていると実感している。

これもひとえに、日々職員間で十分に報連相をとりながら主体的に考え行動して頂いた成果だと確信している。

皆様におかれましては、改めて心より感謝申し上げます。

今後どのような社会情勢にも左右されない筋肉質な経営体制の確立、そして更なる法人の発展を加速化させるため、下記施策を中心に組織一体となり推し進めていく。

地域共生社会への取り組みについても、社会福祉の観点より積極的に取り組んでいく。

- (1) 人事評価制度を活用した人材育成と公正・公平な人事考課の両立
- (2) 【第一期工事】夢を語り合いながら進める「かわしり保育園の大規模改修工事」
- (3) 積極的な地域共生社会への取り組み

上記 3 つの各施策の詳細内容は、下記の重点施策に記載した通りである。

#### < 第二種社会福祉事業 >

- ・ 保育事業                      ・ 小規模保育事業                      ・ 延長保育事業
- ・ 一時預かり事業                      ・ 病児保育事業                      ・ 地域子育て支援事業

#### < 各保育園の定員及び職員数(令和 7 年度見込み) >

保育園名	定員	職員
ごしよの保育園	160 名	40 名
かわしり保育園	60 名	24 名
阿久和保育園	80 名	37 名
西柴保育園	60 名	26 名
上永谷西保育園	80 名	31 名
阿久和キッズ	19 名	11 名
合計	459 名	169 名

## 2. 重点施策

### (1) 人事評価制度を活用した人財育成と公正・公平な人事考課の両立

今年度から本格的に人事評価制度を効果的に活用することで「各園の事業計画の達成」と「職員の自己実現」を共に成し遂げる更なる後押しとなり、その結果として「法人全体の更なる発展」につながる。

人事評価制度を導入する一番の目的は、人財育成を推進する点にある。学びを通じて各人の強みの伸展、または弱みの克服といった側面に加え、習得したスキルが日常業務を通じて「子どもの最善の利益につながったと実感できる喜び」、「この職種(保育業界)に携わって良かったと思えるやりがい」を感じて頂きたい。

学びの充実化を図る一環として、今年度から本格的に法人主催の研修会として一流の講師をお招きし、質の高い教育を姉妹園合同研修という形で展開していく。姉妹園交流を図りながら研修会を進めることで、改めて身近な存在として姉妹園を感じることができる。姉妹園の職員同士がお互いに共感し楽しく学べる環境こそが、自己啓発の意欲を高める源泉となり組織活性化にもつながると考えている。

各人が目標設定をする際は、まずは法人本部と自園の事業計画書の内容を把握するところから始める。その後、各職種・役職におけるジョブマトリックス(職務基準)で求められる人財像を理解、把握した上で目標成果シートを作成する。人事考課の主な対象項目は、目標成果シートの成果、日常業務における意欲・態度・勤務状況などである。最終的な人事考課は、理事長、園長、事務長による三者協議で総合的な判断で決定する。

一時金はその年の業績により変動するものではあるが、法人としては職員の頑張りに応えられるように極力前向きに検討し対処していくつもりである。

また、職員にとり今まで以上に気持ちよくやりがいをもって仕事に携わって頂きたいので、福利厚生的大幅な見直しを図った。(具体的な福利厚生の内容をラミネートされた A3 の一覧表にまとめたので、是非参考にして頂き活用頂きたい)

最後に「仕事の中に人生があるのではなく、人生の中に仕事がある」と皆様に実感して頂ける職場にするために、法人としても至らない点があれば随時改善し全力で取り組んでいく。共に幸福な人生を歩んでいきましょう。

### (2) 【第一期工事】夢を語り合いながら進める「かわしり保育園の大規模改修工事」

今年度より本格的に基本・実施設計業務、工事業者入札、そして仮設園舎の設置工事、本園舎の大規模改修工事が開始する。法人本部が注力し支援していく主な業務は下記の通りである。

#### 1) 予算管理

国・県・市からの交付金、福祉医療機構からの借入金、姉妹園からの拠点間移動の資金を効果的に運用する。また、工事期間中の追加工事を極力抑えるため工事定例会などを通じ各施工業者と工事仕様の確認、昨今の人件費、建築資材などの物価高騰などを踏まえた上で金額交渉も臨機応変に対応していく。

## 2) 工程管理

各関係省庁、設計事務所、施工業者等と連携を密に図り、工事工程表に沿った進捗の実現に向け、かわしり保育園の保護者、職員の協力も得ながら進める。

## 3) 【重要事項】職員全員で作り上げる夢広がる工事仕様の検討

大規模改修工事を有意義なものにするため、設計事務所案のたたき台の図面をもとに、園長をはじめとして全職員が確認し、夢が広がる要望・意見などを吸い上げ、その情報を設計事務所と共有し検討する。修正し反映された図面を再度職場にフィードバックし再度検討を重ねて頂き、職場全体の想いをのせた図面に段階的に仕上げていく。最終的には、夢のある設計仕様(実施設計)の精度を向上させ、法人理念、保育理念に則ったレイアウト、最適な職場環境を完成させる。法人本部は、この点が円滑に進むように全面的にバックアップしていく。

## 4) 職員体制の充足と安定化

子どもたち、保護者、職員の安全安心な保育環境を保つため、新規採用による職員体制の充足を図る。また、心身ともに安定な状態を保てるように、一人一人のフォローアップにも心掛ける。

## (3) 積極的な地域共生社会への取り組み

### 1) すべての人が生き生きと生活できる社会の実現

社会福祉法人として法的義務に加え、地域共生社会の実現に向け積極的に障害者雇用の推進をしていくことも重要な役割と考えている。今年度より、ごしよの保育園に次いで上永谷西保育園でも障がい者雇用が決定しメンバー入りする。

また、令和8年度の障害者雇用に向け姉妹園の阿久和保育園、西柴保育園でも各1名採用計画をしている。障がい者の働く場の提供に留まらず、障がい者の自己肯定感向上につながる業務割り当てにも十分配慮する。障害者と意識することなく共に働くことが当たり前の職場環境の構築に向け慎重に進めていく。

### 2) 木育活動を通じてSDGsの重要性を伝承

2027年（令和9年）横浜でGREEN×EXPO2027（2027年国際園芸博覧会）GREEN×EXPOが開催される予定である。そのテーマは「幸せを創る明日の風景」となっており、開催意義については「花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造を提案、横浜から明日に向けた友好と平和のメッセージを発信します。」となっている。

これに先駆け当法人でも、先行して木育活動を推進してきた西柴保育園を筆頭に、今年度からは阿久和保育園、上永谷西保育園、阿久和キッズでも水平展開していく。子どもたちに木育のすばらしさや木材の温かさを伝え、自然との関わりを深め五感を刺激することにより豊かな心を育んでいきたい。保育理念で大事にしている自己肯定感が高まる保育の実現にもつながると確信している。

また、健全な自然の循環サイクルについて木育を通じ体験することで、SDGsへの理解を体感で学ぶことで、いつかこの経験が大人になっても環境保全の重要性にも気付ける心優しい大人になってもらえると信じている。

以上

# 令和 7 年度 ごしの保育園 事業計画

## 1. 事業内容

- ・保育事業
- ・一時預かり事業
- ・延長保育事業
- ・病児保育（体調不良児対応型）事業
- ・障害児保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

### 【保育園をめぐる状況】

全国的に課題となっている少子高齢化、秋田市はその最先端を走っている。保育園が立地している御所野地区も例外ではなく、少子化は加速している。今、保育園の運営は大きな岐路に立たされている。そのような状況に対応すべく、今年度以降、定員や受け入れ人数を減らしながら、地域のニーズに適した保育園を目指して変革を進めていきたい。

また、職員の離職も喫緊の課題となっている。早期の離職を防ぎ、長期にわたって安定して働いていただける人財を確保するためには、働き手にとって魅力ある職場となる必要がある。そのためには、時間外労働を減らし有給休暇等の取得がしやすい職場環境を構築するとともに、職員同士が尊重しあい、協力し合って、安心して働くことができる温かい組織を築くことができるよう、より一層の改善が必要である。

さらに、開園から 24 年以上が経過し、施設や設備の故障や老朽化が目立ってきている。園児の安全・安心を守り、安定した園運営を推進するといった観点からも、計画的・継続的なメンテナンスや更新等を進めていかなければならない。

近年、保育園や認定こども園等における不適切保育や誤食等の事故が相次ぎ、保育に対する社会や保護者の目は厳しさを増してきている。幸いなことに、本園はこれまで園児に大きな事故や怪我はなく、保護者の協力も得ながら円滑に保育活動を進めることができています。今年度も、これまで以上に質の高い保育を追究しながら、一貫して子どもの主体性を尊重したチーム保育を進めることに努め、子どもたちの健やかな成長につなげていきたい。

### 【基本方針】

「子どもの最善の利益を第一に、個性を育み、自己肯定感が高まる保育を目指すこと」「家庭や地域と連携し、地域社会に根差した保育を展開すること」を保育理念とし、子どもたちが「愛されている、受け入れられている」という心地よさを感じながら、仲間とともに生きる力の基礎となる、「生活する力」「遊ぶ力」「考える力」「楽しむ力」を身に付けることができるよう、家庭と保育園を連動・継続させて子どもの成長を支えていきたい。

### 3. 重点施策

#### (1) 子どもの主体性を尊重した保育の充実を図る。

子ども一人一人の思いに寄り添い、子どもたちができる限り自己決定して行動できるような援助を行うことによって、子どもたちの主体性をはぐくんでいきたい。日常の保育はもちろん、リズム遊びや運動会、発表会などの行事の際には、その機会を生かし、特に積極的に子どもたちの思いを生かした取り組みを進めていきたい。

#### (2) 地域とのかかわりを大切にした保育を展開する。

少子高齢化が加速度的に進んできているが、地域の活動は活発化してきている。本園に対しても、交流の依頼や行事等への参加要請が多く寄せられている。子どもたちにとって、地域の方々との触れ合いは「地域の方々に見守られている、支えられている、愛されている。」と実感できる貴重な機会であり、自己有用感や自己肯定感を高める場ともなっている。今年度もできる限り積極的に地域とのかかわりを求め、地域とともに歩む園運営を進めていきたい。

#### (3) 業務改善を進め、よりよい職場環境づくりを進める。

職員が、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えることに誇りをもち、やりがいを感じながら働くことができるように、今年度も以下のような取り組みを行っていく。

- ・おが〜るシステムのさらなる活用や NAS でのデータの一元管理を着実に進め、ICT の活用を推進していく。
- ・業務改善プロジェクトで決定した業務改善策を着実に遂行して効果を確認するとともに、さらなる改善の方向性を探る。
- ・のりしろをつけた始末ある仕事と協働の意識を常に心がけ、職員相互の信頼関係を高め、チーム保育の質の向上を図る。

### 4. 地域共生社会に向けた取り組み

社会福祉法人として、また、地域の子どもの預かる保育施設として「地域課題の解決力を高める」ことや「地域丸ごとのつながり」、「地域を基盤とする包括的支援体制構築」の一端を担う意識をもつことは大切である。何ができるのかという問いには、まだまだ具体的に答えるすべをもたないが、「縦割り」や「支え手」「受け手」の関係にとらわれることなく、地域に主体的に貢献できる保育園になるべく、できることから取り組んでいきたい。

#### (1) 地域丸ごとのつながりの強化に向けて

- ・地域の行事、活動に積極的に参加していく。
- ・近隣の高齢者施設や養護施設、小学校、中学校、高校等とのつながりを深め、世代を超えた人と人との交流を進める。

#### (2) 地域を基盤とする包括的支援の強化に向けて

- ・子育て支援・相談のさらなる充実を図り、保育とつながっていない子育て世帯の支援に取り組んでいく。
- ・障がい者の雇用を継続し、共に生きる社会実現へ微力ながら参画していく。

## 5. 施設整備及び備品等購入計画

### (1) 施設整備

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額	理由
哺乳瓶消毒保管庫修繕	4月	218千円	モーター及びその周辺部品の交換が必要なため
園庭の日よけ対策	6月	100千円	遮光ネット設置、撤去工事
園庭木造造作物の撤去	6月	220千円	老朽化により損壊の危険があるため

### (2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価	数量	金額	理由
給食運搬用ワゴン	4月	100千円	2	200千円	劣化が激しく、使用が危ぶまれるため

## 6. 部門別保育年度達成目標

### (1) 乳児保育部門

#### 0歳児

- ・保育者の愛情のもと、一人ひとりの生理的・心理的欲求が満たされ、健全な生活を送る。

#### 1歳児

- ・保育者に見守られながら、身近な人や物に興味をもち、関わりを広げる。

#### 2歳児

- ・保育者や他児と生活する中で、様々なことに興味や関心をもち、自分でやろうとする意欲をもつ。

### (2) 幼児保育部門

#### 3歳児

- ・保育者や友だちと関わる中で、自分の気持ちを出しながら遊びを十分に楽しむ。

#### 4歳児

- ・友だちとの関わりを通して、心を豊かにし、目的をもって行動する。

#### 5歳児

- ・友だちと経験する様々な活動を通して、仲間の意思を大切に、考えて行動する。

### (3) 給食部門

- ・子どもにとってより安全で安心な給食の提供の実現のため、衛生管理の徹底と衛生マニュアルを遵守した作業の継続に努める。
- ・食物アレルギー対応をしっかりと行うとともに、食事提供の原則をして「組織的対応、完全除去、安全配慮」を実践し、「誤食の防止」を職員全体で周知徹底する。



- ・発達段階や個々の興味や関心に応じた食育活動が行えるよう、年間食育計画の工夫・改善を図る。
- ・複数人いる栄養士の長所を生かした献立になるよう、季節の食材、郷土食、行事食等、工夫をこらして取り組むようにする。
- ・離乳食の進行に応じて保護者との連携を深め、0歳児からの食事に関わり、安心感を与えるような保護者支援をする。

#### (4) 子育て支援部門

##### 保育園を利用している保護者に対する子育て支援

- ・保護者が子どもの成長に気付き、子育ての喜びを感じることができるよう、信頼関係を一層深めるように努める。その際は、保護者のそれぞれの置かれた状況に職員全員で配慮する。
- ・懇談会や面談等を通して、子育てに悩んだり、不安を感じたりする保護者同士が情報交換したり、保育者と相談する機会をできるだけ多く設定する。

##### 地域の保護者等に対する子育て支援

- ・未就園児を対象に地域の交流センターで行っている子育て支援活動では、その意義を全職員で共有し、保育や食の専門性を活かした子育て支援ができるよう一層努めていく。(リズム、簡単な制作、食育の相談等)
- ・給食試食会や園見学などについて、実施時期や方法について検討していく。

#### (5) 地域交流部門

##### 近隣の中学校・高校との交流

- ・可能な範囲で行事を通しての交流や要望に積極的に応じ、職場体験やボランティア等の受け入れを行っていく。また、リズムあそび発表会など相手施設を活用しての活動にも積極的に取り組む。

##### 地域の福祉施設（シルバーエリア、ふれあいセンター、けやき会等）との交流

- ・様々な感染症の状況を把握しつつ、可能な範囲で積極的に交流を行っていく。訪問等が難しい場合でも、手紙や動画等で子どもの姿や園での活動を知ってもらえるような取り組みを工夫する。

#### (6) 姉妹園交流部門（かわしり保育園）

- ・行事を通しての交流（野菜の苗植えや収穫活動、竿燈壮行会への参加等）
- ・職員研修での交流、職員同士での意見交換の継続
- ・職員の派遣による交流（休日保育、竿燈行事への協力）

## 7. 児童数・職員数

### (1) 入所児童数(令和7年4月1日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	令和6年度継続児	令和7年度新入児	合計
0歳児	1	11	12
1歳児	20	0	20
2歳児	25	0	25
3歳児	24	0	24
4歳児	26	0	26
5歳児	26	0	26
合計	122	11	133

＊「令和7年度新入児」は、市役所からの通知（1月17日現在の申込数）による。

### (2) 職員数(令和7年4月1日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	15	0	4	0	0	1	21
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	1	1
パート職員	0	12	2	0	2	1	0	17
障がい者人財	0	0	0	0	0	1	0	1

## 8. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入日	進級園児・新入園児を職員全員で受け入れる。
	おおきくなったね、おめでとうの会	進級・新入をみんなでお祝いする。
	ごしょの会総会	保護者会の昨年度の活動内容報告や今年度の方針について話し合う。
5	こいのぼり集会	みんなで端午の節句をお祝いする。
	内科健診	園医の千葉先生による健診を行う。
6	保育参観・参加	子どもと一緒に保育園での過ごし方を知り、遊びを楽しむ。
	歯科健診	園医の平塚先生による健診を行う。
7	夜の特別保育	年長児が夜の保育園で楽しい活動を行う。
	七夕集会	子どもたちの願いを短冊に書いて飾り、行事の由来について知る。
	夏まつりごっこ	園児と職員で、夏まつりごっこを楽しむ。
	かわしり保育園竿燈壮行会	竿燈に参加するかわしり保育園園児を応援する。
9	運動会	御所野小学校のグラウンドや体育館で運動遊びやリレーなどをして楽しむ。
	自由保育参観・参加週間	保護者の方にも積極的に保育に参加してもらう。
10	遠足	以上児が学年ごとに園バスに乗って出かける。
	内科健診	園医の千葉先生による健診を行う。
	給食展示会	給食の実物を展示して紹介する。

11	親子お楽しみ会（1，2歳児クラス）	園児と保護者が一緒になって、体を動かしたり、読み聞かせを聞いたりして楽しむ。
12	発表会（3歳児～5歳児）	普段の保育園生活で身に付けたことを演目の内容に組み込み、秋田テルサの会場で発表する。
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しむ。
1	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いする。
	親子お楽しみ会（0歳児クラス）	園児と保護者が一緒になって、体を動かしたり、読み聞かせを聞いたりして楽しむ。
2	節分集会	みんなで集会をして節分についての由来を知る。
	年長児保育参観・クラス懇談会	卒園の思い出になるものを親子で力を合わせて作ったり、歌や詩を聞いてもらったりする。懇談会では、卒園を前にこれまでの園生活を振り返り、成長を喜び合う。
3	ひなまつり会	みんなで集会をして、ひなまつりの由来を知り、お祝いをする。
	ばらくみさんありがとうの会	年長組の子ども達へ感謝の気持ちを込めて、在園児がプレゼントを渡したり、おやつパーティーをしたりして楽しむ。
	卒園式	ごしよの保育園のホールで、年長児（ばらくみ）の卒園をお祝いする。
毎月	避難訓練（不審者訓練含む）・誕生会・リズムあそび	
年1回	各クラス懇談会・個人面談（実施時期は各クラス毎に異なる）	

## 9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
申し送り	1日2回
職員会議	月1回
給食会議	月1回
クラス会（園長・主任・担任・補助保育士参加）	月1回
園長・主任・副主任会議	案件がある場合に随時
ケース会議	案件がある場合に随時
チーフ会	案件がある場合に随時

## 10. 研修計画

### 【園内研修・研究】

異年齢構成の小グループごとに取り組みたいテーマを決め、チームで研究に取り組む

- ・「目に見えないものに眼差しを注ぐ～子ども大好き！保育大好き！の保育者像を目指して～」という園全体の研究テーマのもと、「チーム保育を活性化する」という観点から、経験年数の異なるメンバーによる小グループを編成し、グループごとに研究テーマを設定して取り組んでいく。資料作成等の手間を省き、保育場を切り取った一枚の写真をもとに、それぞれの意見を交換し合う形式にすることで、チームとしての意識向上や保育の力量向上に繋げていく。

### 【若手職員の育成】

- ・園内研究の1つとして、保育に関する知識や考えを深めることができるようなテーマを設け（絵本の読み聞かせ等）、若手職員個人でその資料作りや発表等を行う。

- ・若手職員に対し、社会人、保育士、法人職員としての心得やマナー等の社会人指導を行う。

【園外研修】＊この他、各職員の年度目標と照らし合わせながら、随時研修の申し込みをする予定。

月	一般的な研修 (法人主催の研修会も含む)	キャリアアップ研修	内容
4	秋田市地区保育士会総会		・保育士会活動内容の報告、予算案の承認、講演会。
	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	園長等運営管理協議会		・秋田県就学前教育における年度の重点等の伝達等。
	新規採用者研修Ⅰ		・新規採用者を対象とした研修
5	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	保健部会		・保健担当の職員（主に看護師等）が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		・子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。
	教頭・主任等研修会Ⅰ		・市や県の動向の伝達内容を含めた教頭、主任保育士に対する研修、情報交換等。
	新規採用者研修Ⅱ		・新規採用者を対象とした研修
	園内研修リーダー養成講座 (応用編)		・園内研修の進め方や内容について考えを深め、自園の研修に活かす
6	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	コミュニケーション研修会		・法人主催で、講師を招いての研修（かわしり保育園と合同）
	メンタルヘルス研修会		・法人主催で、講師を招いての研修（かわしり保育園と合同）
	新規採用者研修Ⅲ		・新規採用者を対象とした研修
	5年経験者研修Ⅰ		・5年以上の経験者を対象とした研修。
	中堅保育者資質向上研修Ⅰ		・10年以上の経験者を対象とした研修。
	保育実践力向上研修Ⅰ		・3年以上の経験者を対象とした研修。
7	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	保健部会		・保健担当の職員（主に看護師等）が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。

	前期南部地区幼保小 連絡協議会		・地区の小学校、幼稚園、こども園、保育園が集まり、授業・保育参観や情報交換等をする。
	新規採用者研修Ⅳ		・新規採用者を対象とした研修
	特別支援教育担当者研修会		・特別支援担当を対象にした研修。
	中堅保育者資質向上研修Ⅱ		・10年以上の経験者を対象とした研修。
	就学前・小学校地区別 合同研修会		・年長児担当者と1年生担当者を対象にした研修。
8	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	5年経験者研修Ⅱ		・5年以上の経験者を対象とした研修。
	中堅保育者資質向上研修Ⅲ		・10年以上の経験者を対象とした研修。
	乳幼児保育研修会		・0～2歳児担当を対象にした研修。
	保健衛生研修会		・保健衛生担当者を対象にした研修
9	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	新規採用者研修Ⅴ		・新規採用者を対象とした研修
	中堅保育者資質向上研修Ⅳ		・10年以上の経験者を対象とした研修。
10	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	南部地域子育て支援 ネットワーク連絡会		・子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。
	秋田市地域子育て支援 ネットワーク研修会		・子育て支援担当者が集まり、子育てに関する研修会を行う。
	施設交流		・他園を訪問し、1日保育に参加する。
	保育実践力向上研修Ⅱ		・3年以上の経験者を対象とした研修。
	マネジメント研修会		・ミドルリーダーの役割を担う職員を対象とした研修。
	中堅保育者資質向上研修Ⅴ		・10年以上の経験者を対象とした研修。
	秋田県保育士会研修会		・保育士会主催の研修。(内容はその年に応じて異なる)
11	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
		キャリアアップ研修	・e-ラーニングによる研修
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	後期南部地区幼保小 連絡協議会		・地区の小学校、幼稚園、こども園、保育園が集まり、授業・保育参観や情報交換等をする。
	教頭・主任等研修会Ⅱ		・市や県の動向の伝達内容を含めた教頭、主任保育士に対する研修、情報交換等。
	新規採用者研修Ⅵ		・新規採用者を対象とした研修

	5年経験者研修Ⅲ		・5年以上の経験者を対象とした研修。
	中堅保育者資質向上研修Ⅵ		・10年以上の経験者を対象とした研修。
	園内研修リーダー養成講座 (応用編)		・園内研修の進め方や内容等について考えを深め、自園の研修に活かす
12	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
		キャリアアップ研修	・e-ラーニングによる研修
1	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	新規採用者研修Ⅶ		・新規採用者を対象とした研修
	中堅保育者資質向上研修Ⅶ		・10年以上の経験者を対象とした研修。
2	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	コミュニケーション研修会		・法人主催で、講師を招いての研修（かわしり保育園と合同）
	メンタルヘルス研修会		・法人主催で、講師を招いての研修（かわしり保育園と合同）
	保健部会		・保健担当の職員（主に看護師等）が集まり、勉強会等を行う。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	南部地域子育て支援 ネットワーク連絡会		・子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。
3	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	かわしり・阿久和・西柴保 育園・阿久和キッズ卒園式		・姉妹園の卒園式に祝詞を送る。

以上

# 令和 7 年度 かわしり保育園 事業計画

## 1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 障害児保育事業
- ・ 休日保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

○ 令和 7 年度 4 月 1 日のスタートは、園児数 51 人となる。これまでの最少人数である。秋田市においても、他郡市と同様に少子化や保育園の統廃合の波が押し寄せているのは否めない。子どもを託すにふさわしい、魅力ある保育運営が益々必要といえる。全職員で全園児に関わり丁寧な保育を行うこと、子どもの育ちに即した行事運営、広報活動の充実、本園の大きな特色である秋田竿燈まつりへの取り組み、地域や保護者との交流行事の充実など、職員の協働性を高めると共に、子どもや保護者にとって魅力的な園になれるよう、工夫していきたい。

○ 今年度は大規模改修計画の本格化が見込まれる。年度当初の国への補助金申請結果にもとづいて、仮設園舎や改修園舎の実施設計を具体的に進めていく必要がある。また、仮設園舎については、早ければ今年度の秋から冬にかけて施行される。現在の各保育室や厨房関係の移設する備品や改修園舎に新設する備品など選定作業を計画的に進めたい。いずれにしても、必要な設備の絞り込みも含めて、法人・園・設計者等で緊密に連携をとることと職員の想いを高めながら、着実に前進したい。2 回目の地域や保護者への改修に関わる周知についても早めに検討し実施したい。

### <基本方針>

法人理念・保育理念・かわしり保育園の保育目標を基に、子ども一人ひとりに寄り添った保育を進めていく。子どもや職員が「安全・安心」に過ごせるよう、保護者や地域等と連携をとりながら、子どもの最善の利益を第一に、個性を育み、自己肯定感が高まるよう、バランスの取れた保育・園運営に努めていく。

### 3. 重点施策

#### (1) 一人ひとりの子どもの良さや特性に配慮したバランスのとれた保育

子どもたち一人ひとりは、かけがえのない存在である。その大前提に立ち、子どもの保育にあたることが肝要だと考える。月齢による発達の差やその子自身の特性をとらえ、その子の良さや可能性を伸張させるバランスのとれた保育を展開したい。そのために個人個人のメモや記録の蓄積ときめ細かな情報交換、そして多様な視点から子どもをとらえるという職員の意識を醸成していきたい。

#### (2) 働きがいのある職場と協働性の構築

新しく働き始める職員も増えることから、定期的なミーティングの場面を増やし、意見を共有する場を意図的に設定したい。目標成果シートやジョブマトリックスなどを活用し、自分の役割と責任を明確化する。それぞれの強みと弱みをリスペクトしながら、方向性がぶれることなく協働性を高めていきたい。また、ノンコンタクトタイムの導入やおがーるシステムの有効活用など効率化とチーム力の向上に努めたい。

#### (3) 職員の資質能力の向上

保育所や教育施設は、人間の成長発達の基盤をつくりあげていくと共に、安心・安全な居場所となることが求められる。私たちは、子どもたちの健全な成長と発達を支える重要な使命をもっていることをあらためて自覚したい。そのための自分自身の啓蒙や資質能力の向上のための取組を深めたい。キャリアアップ研修や園内研究、法人独自の研修など様々な機会を活用して自分磨きをするというプロ意識を持ちたい。

#### (4) クラウドデータ管理の徹底

USB メモリ等での個人情報漏洩やデータ消失を防止するためにも、園内のデータを一元管理する。このことに取り組んでから 4 年目を迎え職員への意識も徹底されてきているので、令和 7 年度は基本的に USB メモリの使用は廃止する前提でさらなる意識徹底とルール作りを図りたい。

### 4. 地域共生社会に向けた取り組み

#### (1) 子育て支援の拠点としての保育園の役割

近年、地域共生社会と取り沙汰されているが、保育園においても、地域の中で子どもたちの成長を支え、保護者や地域住民との連携を通じて、共生社会の実現に貢献する役割が求められている。その意味において、私たちは地域の子育て支援の拠点としての役割を担っているという意識が重要である。地域の子育て家庭への園開放日などを通じてのサポート、地域にも開放しての子育て講座の開催など、計画の実現を探りたい。

#### (2) 地域交流の推進

子どもたちは、園生活での様々な人との関わりや地域環境、家族や親族とのふれあいなどで育っていく。川尻地区にも高齢施設や様々な企業、子ども食堂など多様な場所がある。秋田竿燈まつりの参加や地域商業施設での子どもたちの作品展示など地域との関わりを大切にしているが、防災上の連携や地域施設との交流など、様々な可能性を追求していきたい。

#### (3) 障がい者雇用に向けた具体化の検討

高齢者や子ども、障がいのある方、外国の方等、様々な人との交流を通じて、子ど



もたちに多様な価値観や経験を学ばせることも大切である。法人でも障がい者雇用について取り組み始めていることから、本園でも雇用について検討を進める時期と考えている。その雇用の窓口や支援学校との相談、どんな仕事をお願いできるか等、その可能性について検討を進めていきたい。

## 5. 施設整備及び備品等購入計画

### (1) 施設整備

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額	理由
ぞう組エアコン修理	6 月	150 千円	昨年度からエラーコード頻発 室外機基板交換の必要ありと診断 本格的な使用が始まる前の修理代
大規模改修工事 基本設計本年分	8 月	4,458 千円	大規模改修工事基本設計に伴う 令和 7 年度分設計料の支払い

### (2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価	数量	金額	理由
P C の補充	5 月	150 千円	3 台	450 千円	台数の補充（I C T 化の推進のため） リース契約で 5 年間の支払い（月 1 台 につき 3,000 円）

## 6. 部門別保育年度達成目標

### (1) 乳児保育部門

- 乳児：・保育者と温かい関わりの中で信頼関係を築く。
- ・衛生的で安全な環境の下で、生命の保持・情緒の安定を図る。
  - ・安心できる人的・物的環境で、聞く・見る・触れるなどの経験を通し、身のまわりに対する興味や関心が芽生える。
  - ・離乳食や歩行、発語の意欲へ向けて段階的な発達をする。
- 1 歳児：・情緒が安定し、身の回りのことに興味を持つ。
- ・探索活動を通して、自由に体を動かすことを楽しむ。
  - ・保育士や友だちと関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。
  - ・少しずつ言葉を覚え、自分の欲求や気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。
- 2 歳児：・自分の思いや要求を表し、安心して過ごす。
- ・生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。
  - ・保育士や友だちと関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。
  - ・言葉のやり取りや表現する楽しさを味わう。

### (2) 幼児保育部門

- 3 歳児：・生活の仕方がわかり、自分で身のまわりのことをしようとする。

- ・体を十分に動かして、様々な動きのある遊びを楽しみ、心地よさを味わう。
- ・保育者や友だちと親しみ、心地よさを味わう。
- ・自分の要求や感じたことを自分なりの方法で表現する。

- 4 歳児：
- ・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
  - ・日常生活に必要な習慣や態度を身につける。
  - ・いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友達との関わりを広げる。
  - ・身近な事象に興味をもち、遊びや生活に取り入れる。
  - ・自分の気持ちを言葉で伝えたり、相手の思いに気づいたりしながら、友達と一緒に遊ぶ。

- 5 歳児：
- ・集団生活の中で意欲的に活動し、仲間との関わりを通して生きる力の基礎を培う。
  - ・疑問や発見などによる事物への関心を深める。
  - ・物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
  - ・相手の気持ちを考え、認め合いながら遊ぼうとする。

### (3) 給食部門

- ・「安定した給食」や「安心・安全な給食」の提供のため、厨房職員が率先して健康管理、衛生管理を徹底していく。
- ・給食を通して、子ども達が旬の食材や味覚に触れ、食体験の機会を増やす。
- ・年齢に合った食材の固さ、形態、嗜好等、その都度給食職員、保育士で話し合い連携していく。

### (4) 地域交流部門

- ・職場体験やボランティアの積極的な受け入れ、また、近隣の小学校との交流を深める。
- ・安全に竿燈祭りに参加し、郷土のまつりにふれることを楽しむ。
- ・ごしよの保育園や山王幼稚園とは御山野楽校で一緒になる機会が多い。交流の場づくりを工夫したり、一緒にあそんだりなど関わりを充実させる。

### (5) 子育て支援部門

- ・年2回の個人面談の機会を大切にする。子どもを中心にすえ、常日頃から子どもの様子を伝え合うことで、家庭との連携や信頼関係をつくる。
- ・今後も園開放行事については、「地域の就学前の親子が楽しんで遊べる場」「子育ての話が気軽にできる交流の場」「かわしり保育園（の保育）を知ってもらえる場」を3本の柱とし、企画の充実を図っていく。
- ・入園予定の子どもには、4月の時点で園開放予定日の通知を送り、園と関わる機会、話を聞く機会を積極的に設けるなど関係づくりに努める。

## 7. 児童数・職員数

### (1) 入所児童数(令和7年4月1日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	0	6	6
1 歳児	9	1	10
2 歳児	9	0	9
3 歳児	12	0	12
4 歳児	8	0	8
5 歳児	12	0	12
合計	50	1	57

## (2) 職員数(令和 7 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	14	0	2	0	1	0	18
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
パート職員	0	3	0	0	1	0	1	5
シルバー人材	0	0	1	0	0	0	0	1

5 月入職保育士 1 名、育児休業から年内復帰予定 2 名（保育士 1 名・看護師 1 名）

## 8. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入を祝う会	進級・新入をみんなでお祝いします。
	端午の節句集会	端午の節句をみんなでお祝いします。
5	以上児親子遠足	親子で遠足を楽しみます。
	内科健診①	嘱託医が園児の健康診断を行います。
6	歯科健診	嘱託歯科医が園児の歯科健診を行います。
	清掃日	保護者と一緒に園内外を掃除します。
7	七夕集会	みんなで七夕を楽しみます。
8	秋田市竿燈まつり参加（ぞうくみ）	竿燈に卒園児と年長児が参加します。
	個人面談	お家の方と面談をします。（全園児）
10	お泊り会	年長児がお泊り会に参加します。
	運動会	運動会に参加します。
10	自由保育参観・参加週間	子どもたちの普段の様子をお家の方に見て頂きます。
	内科健診②	嘱託医が園児の健康診断をします。
12	お楽しみ発表会	発表会を楽しみます。
	個人面談	お家の方と面談をします。（希望者のみ）
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しみます。
1	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いします。
	園外活動（買い物・お参り体験など）	年長・年中児のチャレンジ行事
2	節分集会	みんなで豆まきをします。
	保護者会総会	役員選出等の総会をします。
	ひな祭り会	みんなで桃の節句をお祝いします。
3	卒園式	年長児の卒園をお祝いします。
	お別れ遠足（ぞうくみ）	年長児がみんなで遠足を楽しみます。
	園内お別れ会	みんなで、ぞうくみの卒園をお祝いします。

- ・毎月の誕生会は、以上児と未満児に分かれて実施します。
- ・避難訓練（消火訓練、不審者訓練含む）は毎月行います。
- ・園バスを有効活用し、季節感のある園外での活動を楽しみます。

## 9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月 1 回（2 回に分けて）
厨房会議	月 1 回
チーフ会や主任・副主任会	必要に応じて
園内研究・研修会	研究推進チームの年間計画により、 保育公開・実務研修等を実施

※毎日の打ち合わせ会の実施

## 10. 研修計画

### ○園内研究・研修

- ・保護者や職員に対し、法人理念、保育理念、園目標などについて、周知徹底を図っていく。これまでの園内研究や研修を生かして、園としての振り返りを重ね、望ましい保育の在り方や園全体のスキルアップを進めていく。
- ・e ラーニングやWE B 研修を有効活用し、キャリアアップ研修の進捗を図る。今年度、新加入の保育士が多いことから、初任者や経験の浅い職員のための基礎的な研修を随時行うことも含め、情報の共有をこまめに行う。
- ・資料の事前渡しや予備学習などで、意見や考えをまとめておくことを確認する。どの職員も、最低一人 1 回は発言できるように、グルーピングや話し合い方の工夫を続けていく。分からないことを聞くことが恥ずかしいことではないという雰囲気づくりと、新たな気づきや学びを丁寧に取り上げていくことで、一人一人の資質能力が向上していくことを園全体で意識していきたい。

### ○園外研修

※必要に応じて、対面研修とWE B 研修を組み合わせ、県外への出張も必要に応じて進める。姉妹園や横浜地区への職員派遣や研修を計画的に進めていく。

月	一般的な研修 (法人主催の研修会も含む)	キャリアアップ研修	内容
4	研究部会		
	園長等運営管理協議会		秋田県教育庁幼保推進課主催、国の動向 や県の重点等の指示伝達
	幹事会		
5	研究部会		
		教頭・主任等研修会 1	
	主任保育士部会		
	保健部会		
	人事考課研修①		法人研修（副主任出席）
6	幹事会		

	研究部会		
	子育て支援ネットワーク		中央地域の子育て支援担当者が集まり、年間計画、情報交換等を行う
		ミニ学習会	
	コミュニケーション研修① メンタルヘルス研修会①		法人研修（全職員対象）
		新任保育士研修	
7	主任保育士部会		
	研究部会		
	保健部会		
8		乳幼児保育研修会	
	人事考課研修②		法人研修（副主任出席）
9 ・ 10	ごしよの保育園運動会		運動会見学
	山王幼稚園・保育園運動会		運動会見学
	給食部会		
		主任保育士研修会	
	阿久和・西柴・上永谷西保育園運動会見学		運動会見学
	秋田市幼保小連絡協議会 幹事会		
	川尻小学習発表会		学習発表会見学
11		教頭・主任等研修会 2	
	給食部会		
		学習会	
	主任部会		
	人事考課研修③		法人研修（副主任出席）
12	阿久和・西柴・上永谷西保育園発表会		各園の発表会見学
1		園長等研修会	
2	主任保育士部会		
	保健部会		
	給食部会		
	コミュニケーション研修② メンタルヘルス研修会②		法人研修（全職員対象）
3	ごしよの・阿久和・阿久和 キッズ・西柴保育園・ 上永谷西卒園式		各園の卒園式見学

(ア) キャリアアップ研修と法人独自研修の計画的な履修を進める。また、秋田市保育協議会や保育士部会研修等は、WEB研修も含めて積極的に参加することを推進し保育力の向上を目指す。

(イ) 月例の職員会議等を活用して、「法人理念」、「保育理念」、「園目標」など職員に周知する場面を意図的に取り上げ浸透を図る。

以上

# 令和 7 年度 阿久和保育園 事業計画

## 1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 地域子育て支援事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

令和 7 年度は 4 月から 0 歳児を 9 名受け入れ 3 歳児クラスまでは目標とする定員に達してスタートすることができる。また、保育士も潤沢に配置していただき、職員の働きやすさに加え保育の質の向上もしっかりと果たしていきたい。そしてその思いを職員皆が同じように感じ、行動に移していられるようお互いに高め合える職員関係を築くことを目標としている。

保育はこれまでと変わらず、一人ひとり異なる感性や個性を持った子どもたちを一人の人間として尊び、心身ともに健やかに育つことのできる環境の中で、人から十分に愛され、ありのままの自分であることを認められ、幸せに暮らすことができるよう努め丁寧に保育していく。その保育を実現するために、保育の質の向上、職員の関係が良好であることが、最も重要だと考えているので、園長、主任、副主任を軸にして、保育の専門性を学ぶこと、そして、誰に対しても思いやりのある温かい阿久和保育園になる事を目指す。また、支援を必要としているご家庭に対して、また発達援助が必要な園児について、多方面の専門機関との連携を深め保育園の役割である、子ども子育て支援を充実させていきたい。

保護者からは保育園での生活の様子、保育者やお友だちとの関わりの様子を見たいという要望が高くなっているように感じているので、今年度は誕生会に参加していただいたりクラス懇談会や木育ひろば、コンサートに来園していただく等開けた保育園となるよう努めていく。

また、引き続き地域の子育て支援にも力を入れ、保育園が地域の親子にとっても安心でき拠り所となれるよう役割を果たせる保育園でありたいと願っている。

### 3. 重点施策

#### (1) 一人ひとりの子どもの人権を守る保育

子どもが現在を最もよく生き望ましい未来を作り出す力の基礎を培うことを願い、人との関わりの中で人に対する愛情と信頼感、そして人を大切にする心を育てる保育をするために深い愛情を持って子どもと向き合い優しく温かい保育をする。

・「愛情深い言葉、肯定的な言葉、豊かな表現力」について職員が個々に研鑽を積み職員同士で伝え合う機会を設ける

・子どもの人権を重んじた心身の発達を願う関わりはどうあるべきかということを踏まえた保育計画を立てる。

#### (2) 保育をとことん語り合える職場風土作り

お互いを信頼し尊重し合うことを強く意識し、保育について語り合う事の喜びを感じられるような職員関係を構築する。子どもにとって良いとする保育を基本に考え、子どもの成長や保護者支援のためにどうすればよいかという視点で、保育園の全園児を全職員で見えていく意識を持つ。より良い保育園にするために人的環境が最も重要であることを全職員で認識し、誰に対しても思いやりのある発言や行動を心がける。

#### (3) ICT 活用による業務削減と保護者の要望に応える意識の向上

コドモンにて令和6年度に導入したものは順調慣れ、活用できているので、次の段階として令和7年度はドキュメンテーションを使って保育日誌やその日クラスのねらいに沿った日常の様子を配信していく準備を進め、できるだけ早い時期に実行できるようにする。

#### (4) 保護者の要望に応える

令和6年度に保育園の自己評価のために行った保護者アンケートでは保育園の日常で子どもと保育者の関わりや子ども同士の関わりが見えてこないのでもう少し保育園の中の様子を知りたいという意見が多く出された。これを受けて、子どもの誕生月の誕生会に参加していただく、クラス参観日を設ける、これまでも行っていた個別の参観や懇談会の奨励していく、などの細やかな取り組みをしていく。

#### (5) 地域子育て支援の充実

社会的に女性の職場復帰が早くなっていることが影響しているためか、1歳児から保育園に入園する子どもが増えたのを感じ、子どもが1歳児以上の親子の参加数が減っている。令和6年度からは保育園の行事に参加をしていただくよう計画したり、自園の栄養士による栄養相談、看護師による発育相談等も取り入れているので、内容をさらに工夫し定着するよう努力していきたい。また、保護者がどんな内容を求めているのかニーズ調査をしたり他の保育園や子育て支援拠点を視察させていただくなど視野を広くして地域の親子に寄り添っていきたい。

#### 4. 地域共生社会に向けた取り組み

##### (1) 地域消防設備設置協力

地域の消防設備設置担当者からの依頼で、地域の災害対策として消火設備の設置場所として保育園の駐車場の一角を提供した。地域の誰もが使用しやすい場所であり地域の役に立てたと思う。

##### (2) 向原公園の美化活動協力

近隣の向井原公園の花壇に花を植える活動を依頼され、年長児が花を植えている。公園の美化が保たれ、園児にとっても自分たちが携わって公園を大事にしているという体験をさせていただきありがたく思う。

##### (3) ごみの分別啓発活動

横浜市資源循環局瀬谷事務所の協力のもと、実際にごみ収集車で来園していただき、分別体験や、指導をしていただいている。子どもの頃から分別の重要性を学び身に着け、また、家庭に帰って家族と話すことで分別に対する意識を高め広めていく効果もあるので双方にとって良い取り組みとなっている。(地域交流で来園している親子も参加している)

##### (4) クロネコヤマト交通安全教室

クロネコヤマトさんが園庭に、車と横断歩道を設置してくださり、大きな車には死角があって運転席からは見えないから危ないということを知ったり、道の横断の仕方を覚えることで子どもの安全を守り、運送会社の方が安全に荷物を運搬することができるよう双方にとって効果を期待できる機会となっている。(地域交流で来園している親子も参加している)

##### (5) 消防署の協力のもとの子ども防災教室

消防署の消防士が来園し子どもへの防災訓練指導をしてくださる。様々な災害ごとの身の守り方に違いを知ったり、実際に煙を発生させ、視界がどのようなになるのか体験するなど学ぶことは多い。子どもの頃から防災に関する知識を身に付けておくことで人命救助の結びつくことや、保育園では学びきれないことを防災の専門家に教えてもらうことで自分の命を守ることへの意識は高まると思うでありがたい取り組みである。



## 5. 施設整備及び備品等購入計画

### (1) 施設整備

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額	理由
外壁塗装及び 防水施工	7 月	10,780 千円	経年劣化による汚れが目立つため
保育園の敷地内に ある 2 か所の畑の土 と柵の補修	4 月	200 千円	保育園で栽培保育をするために保育園の 敷地内にある 2 か所の畑の土壌改良と柵 の補修

### (2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価	数量	金額	理由
木育玩具	6 月	300 千円	未定	300 千円	木育保育を取り入れていくため (購入品は研修やひろばを体験 祖いた後に検討する)
熱中症対策 テント	6 月	185 千円	3 張	555 千円	熱中症対策としてプール遊びの 際にプールの上に設置する
見守りカメラ	5 月	15 千円	10 台	150 千円	

## 6. 部門別保育年度達成目標

### (1) 乳児保育部門

0 歳児：安全が保障され安心して過ごせるよう十分に配慮された環境で、一人ひとりが大切に受け止められ、愛情に満ちた応答的な関わりによって、特定の大人との信頼関係を基盤に世界を広げていく。

1 歳児：愛されている、受け入れられているという安心できる環境の中で、身近な大人に自分の気持ちを表したり甘えたりすることが出来るようになる。  
保育者を仲立ちとして生活やあそびの中で必要な言葉のやりとりを楽しんだり、自分の好きなことに夢中になったりして楽しむことができる。

2 歳児：安心できる保育者との関係のもとで、個々の意欲や気持ちを受け入れてもらい、単な身の回りのことを自分でしようとする。

興味のあることや経験した事などを、生活やあそびの中で、保育士と共に好きなように表現したり、友だちとのやり取りも楽しめるようになる。

## (2) 幼児保育部門

- 3 歳児：保育者や友だちと過ごししながら、他者の存在に気付き一緒に遊んだり、過ごすことの楽しさを知り、人との関わりが好きになる。  
身体的な発達が進み十分に体を動かして遊ぶ心地良さを知る。また、好奇心や想像力を働かせて意欲的に自らの生活を自立していく。
- 4 歳児：友だちや保育士、身近な人に自分の思いを言葉や行動で表現しながら、他者を受容する気持ちが育つ。  
友だちと繋がってやり取りをしたり、同じイメージの中でごっこ遊びやルールのある遊びを楽しんだり、集団で活動することを楽しめるようになる。
- 5 歳児：生活やあそびの中で達成感や充実感を味わう体験をし、目標に向かってともだちと力を合わせて活動する。また、関わりの中で起こる我慢する状況や様々な葛藤を乗り越え相手の立場に立って物事を考えたり判断したりできるようになる。  
根気よく関わってくれる大人との関わりの中でやりたいことに自ら行動し、好奇心や探求心を育てていく。

## (3) 給食部門

- ・アレルギー対応の実施
- ・離乳食の進め方について保護者、担任と共に計画し、離乳食提供の実施
- ・年間食育計画に基づいた取り組みの実施
- ・給食衛生管理マニュアルに基づいた安全安心な給食提供の実施
- ・調理員ミーティングの定期的な開催
- ・横浜姉妹園との調理員交流の実施

## (4) 地域交流、子育て支援部門

- 1、地域親子にとって心地良い居場所として、地域に根付き多様な支援を提供する。  
「瀬谷区子育て応援ネット」に加入し、活動日、内容等を広報し、多くの方に阿久和保育園の地域子育て支援を知っていただき参加者を多くしていく。

〈内容〉

- ・園舎開放  
妊婦、0 歳児～1 歳 3 カ月…月 2 回（赤ちゃん教室）  
栄養士による栄養相談や看護師による発達相談も計画的に行う。
- 1 歳 3 カ月～就学前の幼児…月 2 回  
遊びや交流の場の提供、及び育児相談等も随時行う。
- ・火曜日園庭開放…月 4 回  
園庭で遊びを提供したり、保護者同士の交流を促す。また、専門性を活かし、食育、生活、健康などの相談も随時行う。
- ・保育園の行事に合わせて地域の親子も参加して頂く  
収穫体験、消防署合同避難訓練、ヤマト交通安全教室、ハロウィン、お楽しみ会、節分など

- 2、多世代交流を積極的に行い、幅広い交流をしながら地域や、関わってくださる人、場所、行われている事などに深い関心が持てるよう働きかけていく。

〈内容〉

- ・幼保小連携…主に原小学校と年長クラスの交流を計画し交流する
- ・中学校一職業体験受け入れお兄さんお姉さんとの触れ合いを楽しんだり、中学生にも、保育の仕事を体験しながら知ってもらう。
- ・地域大人―地域老人施設との交流

## 7. 児童数・職員数

### (1) 入所児童数（令和7年4月1日の見込み数）

（単位：人）

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0歳児	2	7	9
1歳児	7	8	15
2歳児	15	0	15
3歳児	13	3（1名は 阿久和キッズより）	16
4歳児	14	0	14
5歳児	14	0	14
合計	65	18	83

### (2) 職員数(令和7年4月1日の見込み数)

（単位：人）

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	18	0	1	1	2	0	23
嘱託職員	0	1	0	0	1	0	0	2
パート職員	0	4	4	1	0	0	1	10
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	2	0	0	0	0	2

## 8. 行事計画

月	名称	内容
4	入園、進級式	入園、進級を祝う日
	全クラス懇談会	一年間の保育の見通しやクラスの様子を保護者に伝えたり、保護者同士の交流を図る。
	たけのこ堀り	相澤様のたけのこ山をお借りし、たけのこ堀りを体験する。掘ったたけのこは園児が皮むきをし、給食に入れてもらい、食育に繋げる。
	4月生まれの誕生会	4月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。

5	子どもの日集会	こいのぼりを飾り、端午の節句の由来を知り祝う。
	3～5 歳児クラス参観日	クラスごとに日頃の保育園での子どもたちの様子を参観していただく。
	じゃがいも堀り	相澤様の畑をお借りし、じゃがいもの収穫体験をする。収穫したじゃがいもはクッキング保育で調理したり、給食に入れてもらい、食育に繋げる。
	5 月生まれの誕生会	5 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
6	お弁当遠足（お弁当は 3、4、5 歳）	保護者に作っていただいたお弁当を持って出かけ、春の自然の中で遊び、戸外でお弁当を食べて楽しむ。
	園児内科検診	嘱託医による園児内科検診
	園児歯科検診	嘱託医による園児歯科検診
	6 月生まれの誕生会	6 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
	0～3 歳児クラス参観日	クラスごとに日頃の保育園での子どもたちの様子を参観していただいたり一緒に遊び楽しんでいただく
	木育ひろば	オイスカ様の協力のもと親子で木育ひろばを楽しむ
	プール開き	プール遊びが始まる。プールあそびの約束を知る
7	七夕会	七夕飾りをし、七夕の由来を知る
	消防署合同避難訓練	消防署の方に来園していただき、避難訓練について指導を受けたり、安全な避難方法を学ぶ
	7 月生まれの誕生会	7 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
8	七夕集会	笹を飾り、七夕の由来を知る
	夏まつり	お祭りの雰囲気味わう
	プールじまい	プールあそびが終わる日。水に親しんで遊べたことを称える
	8 月生まれの誕生会	8 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
9	引き渡し訓練	災害時の備え保護者とともに避難訓練をする。
	9 月生まれの誕生会	9 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
10	運動会（3、4、5 歳）	自分なりの力を発揮し、日頃の運動あそびをともだちや親子で楽しむ
	さつま芋堀	土に触れさつま芋の収穫を喜ぶ
	お弁当遠足（お弁当は 3、4、5 歳）	保護者に作っていただいたお弁当を持って遠足を楽しむ
	ヤマト交通安全教室	交通ルールを学ぶ。乗車体験を楽しむ。
	10 月生まれの誕生会	10 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
	ハロウィン	仮装をしてハロウィンを楽しむ
11	園児健康診断	嘱託医による園児内科検診
	園児歯科検診	嘱託医による園児歯科検診
	0～2 歳児参観日	乳児クラスの保護者に参加していただき、親子あそびを楽しむ
	11 月生まれの誕生会	11 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。

12	発表会（3、4、5歳）	日頃のあそびの中から、歌や劇ごっこなどの表現あそびを楽しむ
	うたと音を楽しむコンサート	生の歌声や楽器の音を聴いて音楽を楽しむ
	お楽しみ会	サンタクロースの登場を喜び交流する
	12月生まれの誕生会	12月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
1	こども新年会	昔ながらの正月遊びを楽しむ
	資源物分別体験（3R 夢）	横浜市資源巡回局の方にゴミの分別を教えて頂く。
	1月生まれの誕生会	1月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
2	節分	節分の由来を知り豆をまいて鬼を追い払う
	全クラス懇談会	クラス毎、保育園での1年のこどもの成長を伝えたり、保護者同士の交流をする。保育園生活をお話ししながら進級について伝える
	2月生まれの誕生会	2月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。
3	ひなまつり集会	ひなまつりの由来を知り桃の節句を祝う
	お別れ遠足	5歳児と散歩に出かけ一緒に楽しむ
	卒園児お別れ遠足	5歳児が思い出作りの遠足をする
	お別れ会	「さくら組さんありがとう」の気持ちを伝え楽しいひと時を過ごす
	卒園式	年長児の卒園を保護者と職員とで祝う
	3月生まれの誕生会	3月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う。

#### 9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議（給食会議を含む）	月1回
カリキュラム会議	月1回
アレルギー会議	月1回
乳児会議、幼児会議	月1回
リーダー会議	年4回
会議名	頻度

※月に一度は職員全員で「法人理念」、「保育理念」、「園目標」等の読み合わせを行う。

#### 10. 研修計画

月	一般的な研修 (法人主催の研修会も含む)	キャリアアップ研修	内容
4	園内研修		嘔吐処理研修
	木育についての研修		木育保育に取り入れる意義について学ぶ
5	園内研修（危機対応）		緊急時に必要な対応を学ぶ

	コミュニケーション研修 導入編（法人）		協力関係を作るコミュニケーション
	コミュニケーション研修 発展編（法人）		意見交換を円滑にするコミュニケーション
	人事評価研修（法人）		組織と個人の成長を促す人事評価制度を知る
	ティーチングとコーチング を知る（法人）		伝わる教え方と、相手のやる気を引き出すコーチング術を学ぶ
6	園内研修（危機対応）		AED 操作訓練
		乳児保育分野研修	乳児保育の理解を深める
		幼児保育分野研修	幼児保育の理解を深める
7		障害児保育分野研修	障害児保育の理解を深める
		マネジメント研修	リーダーシップ能力を身につける
	メンタルヘルス研修 （法人）		支援職として働く私たちのヘルスケアを学ぶ
8		保護者支援子育て支援研修	保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ
		保険衛生・安全対策研修	安全管理・保健計画の活用を学ぶ
		食育・アレルギー研修	食育やアレルギーの知識を深める
	ティーチングとコーチング を知る（法人）		伝わる教え方と、相手のやる気を引き出すコーチング術を学ぶ
10	5 区合同研修		保育実技を習得する
	看護職研修		保育園での役割を理解する
11		マネジメント研修	リーダーシップ能力を身につける
		保険衛生・安全対策研修	安全管理・保健計画の活用を学ぶ
	児童虐待防止研修		児童虐待への理解と虐待対応を学ぶ
	園内研修		感染予防対策と嘔吐処理方法を学ぶ
	コミュニケーション研修応 用編（法人）		違いを乗り越えるコミュニケーション
	人事評価研修（法人）		組織と個人の成長を促す人事評価制度を知る
12	保育所児童保育要録研修		保育所要録の理解と記載方法を学ぶ
	異年齢保育研修		異年齢保育の実技を学ぶ
1		保護者支援子育て支援研修	保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ
	園内研修		保育改善検討
2	園内研修		保育改善検討
3	園内研修		保育改善検討

以上

# 令和 7 年度 西柴保育園 事業計画

## 1. 事業内容

- ・ 保育所の経営、一時預かり事業、延長保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

市内の乳幼児の人口が一番低い区という自園の入所対象児の現状の中、地域に根差した園運営を意識し今後も、選ばれる園として残っていく工夫を模索する。

自治会の方々の協力を受けながらの行事や、在園児以外の地域の子育て世代に向けての園を知って頂くアプローチを開始している。

今後はより広く園を外部の方にも知って頂くツールとして、若手職員の得意を駆使し SNS など活用し法人の保育理念、園の日常の保育情報を在園児のみならず、地域の方々、潜在子育て世代にも展開していく。

ここ数年、更に意識し大切にしてきているこども達の最善の利益（人権を守り、アタッチメントを重視した、）西柴の目指す一人ひとりのこども達の最善の利益について、ノンコンタクトタイムを充実させながら、職員一人一人の参加型での日常的な保育の学び合い、語り合いを続けていく。

## 3. 重点施策

### (1) 個々の専門性を高める

職員一人一人の興味関心やそれぞれの得意や、関心のある部門における専門性を高める努力をおしまず、又得た知識や情報を仲間と共有し、西柴のチームでの保育力を高めていく。

### (2) 子育てパートナーとしての園の役割

保育園、保育者の専門性を活用し、地域の子育て家庭を支える役割についても検討し、保護者の成長を支援し見守る役割を担える保育者の育成。

今後の国が進める保育園の社会的役割を視野に入れた職員一人一人の学びを支援し、法人の社会貢献的役割の一部である西柴が担える地域子育て支援を深める。

### (3) 愛着関係・自己肯定感あそびを支える

こども、保護者、地域の子育て家庭を支えるにあたり、愛着関係や、自己肯定感をはぐくむプロセスを西柴における小さな日常の保育から発信し、その大切さに気付き仲間と共有し日常の園生活の中でのこころの育ちの連続性に目を向ける。

(4) ノンコンタクトタイムの充実と保育ウェイブの活用

ノンコンタクトタイムを充実させ一人ひとりが自分の意見を持ちより、今後の保育計画や振り返りに積極的に参加する。その際には保育ウェイブを活用し、可視化によるアイデアの共有や語り合いを重ねながらのプランアレンジ共有、発展、振り返りを紙面上で完結させていく事を、保育者も、こどもたちも日常的に活用できるようにチャレンジしていく。

(5) 生き残る園を目指すことへの努力と工夫

10年後にも保護者に選ばれている園であるために…子どもの権利と尊厳を守り、西柴ならではの、木育をはじめとした自然物を利用した製作活動、絵具や、造形、リトミックなどの表現の活動など豊かな体験を保育をとりいれる。

木育を特色とした西柴の活動を、保育者も楽しみながら自信を持って実践していく。

4. 地域共生社会に向けた取り組み

(1) 産褥期ケア

西柴保育園が出来る、産後直後、孤独に子育てをしている家庭の親が気軽に電話等で相談できるシステムづくりへの模索。孤独な子育て中の母子のおはなしを聞けたり、必要に応じて関係機関と連携が取れる取り組みを区や、町内会と考えいきたい。

(2) 障がい者雇用

現在お願い出来る業務の検証、今後の採用に向け園内理解を深め、サポート体制をつくり、採用に繋げる準備をはじめめる。

5. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額	理由
エントランス 屋根設置工事	5月	2,035千円	送迎時使用玄関前エントランス雨除 けの為
園庭電子錠	5月	1,500千円	安全性を確保するため
保育室内カメラ設 置	5月	200千円	こども達、職員の人権を守るために施 設内のカメラ設置



## (2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価	数量	金額	理由
園庭用遊具・玩具	5月	100千円	1式	100千円	劣化により破損したため、入れ替え
木育玩具・ パーテーション	5月	200千円	1式	200千円	2歳児クラス木製パーテーション

## 6. 部門別保育年度達成目標

### (1) 乳児保育部門

ここ数年の継続目標として引き続き0歳児、1歳児のアタッチメントを大切にしたい乳児期を安心して過ごせる保育環境づくりの継続。

乳児こころの安定を重視し、十分な心地良いかかわりをもち受容され甘える経験を重ねる保育を心がける。

0歳児：落ち着いて安全な雰囲気の中で、一人一人の発達の保障、発育に応じて離乳の完了、安定した歩行、保育者との信頼、愛着関係、友だちとの関係の基礎、が安心できる環境の中で育っていく。

1歳児：愛情あふれる落ち着いた穏やかな環境の中で保育者に見守られながら、人・物に興味関心を持ち安心して関わりを広げる。

安心して大人に甘えることができる。

2歳児：保育者に思いを受け留めてもらい安心できる環境の中で、興味関心を広げ関わろうとする。

安心して友だちや保育者とのやり取りを通じて、自分の思いを表現してみる。

### (2) 幼児保育部門

保育者に見守られたり、共感してもらいながら日々の生活なかでの、体験やなかまとの関わりを通じて、心身ともに育つ。

異年齢の造形や表現、木育活動、体を動かす等の日常の活動を通じ1人1人がじっくりと取り組む楽しさを十分に味わい集団としてもかかわりを楽しめる活動の機会を十分に体験する。

3歳児：保育者やともだちと関わる中で、自分の気持ちを保育者に表現し、気持ちを受けとめてもらいながら、幼児クラスでの体験を通じ興味のあること・遊びを十分に楽しむ。

生活する中で少しずつ考える場面を経験し、我慢やルールがあることに気づいていく。

4 歳児：身辺が自立し、友だちとの関わりを通して、自分の思いを言葉にし、目的を持って行動する経験を通して、心を豊かにしていく。

協調性が少しずつ育っていく、自意識が芽生え、人の気持ちを気にかけることが出来る。落ち着いて遊べる環境の中そだつ。

仲間の中で役割を果たそうと頑張る力が育ち、話を聞けるようになる。

5 歳児：仲間と経験する様々な活動を通して、仲間の意思も大切にしながら、考えや意見が異なっても折り合いをつける経験を通じて仲間と協力したり、工夫したり、考え、調べることの楽しさを実感する。

自分に自信をもち、仲間の違いを受け入れ、共に成長していく。

### (3) 給食部門

#### 乳児期

ゆったりした環境の中、保育者に関わってもらいながら、食事が安らぎの時間となるような関わりを土台とする。安心して食に向かう。

#### 3 歳以上児

食事準備に関わる機会を設け、各々に応じて適切に声かけや介助を行い、食行動の自立を促す。また、食への関心が大きくなり、食事の時間が楽しいものとなるよう、食育活動を行う。

- ・食育年間計画の共有
- ・なかよし給食の実施
- ・アレルギー対応についての情報共有
- ・保護者向け食育情報提供(献立表・食育だより・写真掲示・ブログ)
- ・地域への食育情報の発信
- ・郷土料理献立の提供、各地の情報提供
- ・各年齢に応じた食育活動の計画、実施、仲間と楽しく食べるためのマナーや、ルールを知る。

### (4) その他部門

#### 【地域交流部門】

- ・町内会公園愛護会の方々との公園清掃、花壇の整備、焼き芋の会、お正月あそびの会、西柴夕涼み会(町内の夏祭り)
- ・地域の保育園との交流（年長児スポーツフェスティバル参加、5 歳児キラキラフェスティバル参加）
- ・幼稚園と地域の幼稚園の運動会見学・公園での交流保育
- ・小学校と西柴小学校との幼保小連携推進事業としての連携
- ・小学校給食体験・
- ・小学校運動会見学・学校体験（ランドセル・教科書・図書室）
- ・金沢区の行政主催のイベント「いきいきフェスタ」への参加

#### 【子育て支援部門】

- ・育児講座(年4～6回、園栄養士による食の相談・離乳食のお教室  
手作りのおもちやのワークショップ・リトミック・はぴママヨガ等)
- ・地域の未就園児との交流の充実(誕生会他園行事への参加のお誘い、園庭開放交流  
保育いっしょにあそぼう)
- ・パパ先生講座(座談会形式のワークショップ)

#### 【一時保育部門】

- ・受け入れ定員に空きがある場合の一時保育児の受け入れ、在園児が施設内収容定員  
72名に達した時点で受け入れをストップする。

### 7. 児童数・職員数

#### (1) 入所児童数(令和7年4月1日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0歳児	0	3	3
1歳児	6	7	13
2歳児	12	0	12
3歳児	12	0	12
4歳児	13	1	14
5歳児	13	0	13
合計	56	11	67

#### (2) 職員数(令和7年4月1日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	18	0	1	1	1	0	22
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
パート職員	0	0	1	0	2	0	1	4
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0

### 8. 行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級を祝う会	入園・進級を共に喜び合う会
	誕生会	4月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
5	こどもの日の会	こども達の成長を祝う会
	懇談会	職員と保護者による懇談会1回目
	誕生会	5月生まれのこども達の誕生会

	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
	春の健康診断	園医による定期健康診断 1 回目
6	0 歳児親子ふれあい遊び	0 歳児親子でのふれあいあそび
	1 歳児親子ふれあい遊び	1 歳児親子でのふれあい遊び
	2 歳児親子ふれあい遊び	2 歳児親子でのふれあい遊び
	木育ひろば	OISCA さんによる木育活動
	誕生会	6 月生まれのこども達の誕生会
	個人面談週間	希望者を対象とした懇談会週間
	歯科検診	定期歯科検診 1 回目
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
7	七夕の会	七夕飾りをつくり七夕を楽しむ
	すいかわり	みんなですいかを割り夏をたのしむ
	誕生会	7 月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
8	おまつりごっこ	こども達が商品を売り手、買い手になるごっこ遊び
	誕生会	8 月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
9	防災訓練	総合防災引き取り訓練
	誕生会	9 月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
10	十五夜」の会	お月見団子を作り十五夜を祝う
	運動会（幼児クラス）	運動的な表現の活動を保護者に披露する
	誕生会	10 月生まれのこども達の誕生会
	秋の健康診断	園医による、定期内科健診 2 回目
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
11	やきいも会	地域の方々に公園でやきいもを焼いて頂き一緒に食す
	誕生会	11 月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
12	おたのしみ会	年間を通じて表現したいことを保護者の方を迎えて発表する会
	誕生会	12 月生まれのこども達の誕生会
	クリスマス会	クリスマス进行
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
	歯科検診	園医による歯科検診
1	お正月あそびの会	地域の老人の方々をお招きしての凧揚げ羽根つきなど
	生会	1 月生まれのこども達の誕生会
	個人面談週間	2 回目の懇談会希望者のみ
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
2	節分の会	豆まきをして福をよびます。

	誕生会	2月生まれのこども達の誕生会
	懇談会	2回目の定例懇談会
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
	作品展	園児の作品を観覧していただく
3	卒園遠足	卒園児のみバスで遠足
	ひな祭りの集い	ひなまつりをいわいます
	誕生会	4月生まれのこども達の誕生会
	避難訓練	地震又は火災、土砂災害を想定しての避難訓練
	お別れ会	年長クラスと在園児のお別れ会

## 9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月1回
カリキュラム会議	月1回
乳児会議	月1回以上必要に応じて
幼児会議	月1回以上必要に応じて
給食会議（乳児・幼児それぞれ）	月1回
パートさん職員会議	月1回
各種系の会議	必要に応じて

※月に一度は職員全員で「法人理念」、「保育理念」、「園目標」等の読み合せを行う。

## 10. 研修計画

月	一般的な研修 (法人主催の研修会も含む)	キャリアアップ研修	内容
4	新人研修		
		食物・アレルギー対応	食物やアレルギーの知識を深める
		保護者支援 ・子育て支援	保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ
	園内研修		安全確認午睡中、園内、園外
5	園内研修		横浜市事故防止事故対応の確認
	人事評価研修		法人研修園長事務長主任副主任対象
	コミュニケーション研修 導入編・発展編		法人全職員対象
		幼児教育	幼児保育の理解を深める
		障害児保育	障害児保育の理解を深める
	ティーチングコーチング 研修		専門リーダー以上法人研修
6	園内研修		安全保育の考え方プールみずあそび編
	木育と保育		法人研修今年度入職者
	横浜市		保護者対応研修
	横浜市		子どもの人権

	横浜市		保育実践研修
	現場課題の発見と解決		法人入職後 3 年目
		保健衛生・安全対策	安全管理・保健計画の活用を学ぶ
		保護者支援	保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ
7	園内研修		不審者対応に係る研修
	メンタルヘルス研修		法人全職員対象
		乳児教育	乳児保育の理解を深める
	これから求められる子どもの育ちと保育者の専門性		全職員対象法人研修
	横浜市		障害児様配慮児研修
8	園内研修		子どもの人権を守る観点から望ましい保育と関わり
	ティーチングコーチング研修		法人研修専門リーダー以上
		保育実践	実践的な保育の理解を深める
	横浜市		小児救急法講習会
9	園内研修		横浜市事故防止と事故対応確認基礎知識
	現場課題の発見と解決		法人研修入職後 3 年目以上
	園内研修		誤飲、誤食の対応について
	横浜市		保護者対応訓練
10	園内研修		心肺蘇生
	園内研修		嘔吐処理
		幼児保育	幼児保育の理解を深める
		保健衛生安全対策	安全管理・保健計画の活用を学ぶ
11	園内研修		保育教育施設におけるアレルギー対応、エビペン
	人事評価研修		法人研修園長事務長主任副主任対象
	コミュニケーション研修応用編		法人全職員対象
	横浜市	保育要録研修	
12	園内研修	嘔吐処理	
1	園内研修	不審者対応研修	
		乳児保育	乳児保育の理解を深める
		保護者支援・子育て支援	保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ
2	園内研修		
		保育実践	実践的な保育の理解を深める
	横浜市		子どもに関する防災研修
3	園内研修	次年度に向けてマニュアル確認	
		障害児保育	障害児保育の理解を深める

以上

# 令和 7 年度

## 上永谷西保育園 事業計画

### 1. 事業内容

・保育事業・一時預かり事業・延長保育事業・地域子育て支援事業

### 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

法人による「業務改善アンケート」を実施していただき、職員から上がった意見の中で環境に関して「安全対策」「環境の充実化」を求める内容が多く上がった。

環境の充実化としては12月に園庭に大型遊具を購入していただいた事で遊びの広がりを感じる。安全対策に関しては優先順位を付け解決していく方向である。

育児支援として地域の親子向けに行っている園庭を開放について、例年利用が少ないことが課題であったが、「離乳食試食会」では多くの方の参加があった。次年度も導入する見込みである。また在園児の保護者からも給食試食の要望が寄せられていた事もあり「給食試食会」を実施したが多くの保護者が参加を希望され、大変好評であった。

近年、異常気象による温暖化で夏の活動が大きく制限され水遊びなども存分に楽しむことが難しくなっている。年間行事を見直し、安全に活動できる計画を考えていく必要があると感じる。

誰一人取り残さない「こどもまんなか社会」の実現に向け、子どもの利益を最優先に考え更に丁寧な保育を提供する為に、職員で同じ方向性を持ち関わっていけるよう研修、eラーニング視聴などを通しての知識の習得を継続し行っていく。また、職員間で語りあえる時間を持ち共通理解を深めていく。

### 3. 重点施策

#### (1) 職員間の信頼関係の構築

相手を尊重し、相手の行動や意見に対して好意的に理解しようとする気持ちを持ち、感謝の気持ちを伝え、より良い関係性の構築を図る。また、様々な思考がある中でプラス思考、前向きな捉え方ができる意識が持ち、職員一人ひとりにも個性がある事を互いに認め合い、補い合える職場環境を構築していく。

#### (2) 職員の育成、スキルアップ

子どもの心に寄り添った丁寧な保育を提供し、豊かなこどもの成長を助長できる保育者を目指し、保育の専門性を高め、子どもの思いを受容できる人間力を身に付けるため、法人研修や外部研修に参加し自己研鑽に努める。学びの環境や時間を保証し、研修や動画視聴からの学びを生かし、子ども主体の保育を意識的に行う。

令和8年度、第三者評価を受審するにあたり、今年度より園内研修として導入し意識の中に取り入れていく。

### (3) 保育園の役割と今後のビジョン

子どもが身近な人を信頼でき、安心して成長できるように、「はじめの100か月育ちのビジョン」の大事な時期に関わる保育者が、「何に興味を持ち、何を伝えようとしているのか」子ども一人ひとりの思いを汲み取り「子どもが人格を持ったひとりの人」として、以下の内容を意識して丁寧に関わる。

- ・子どもの権利と尊厳を守る
- ・「安心と挑戦の循環」を通してこどもの幸福度を高める。
- ・「こどもの誕生前」からの育ちを切れ目なく支える。
- ・保護者・養育者の成長の支援・応援をする。

保育園の役割とし以上の支援を前提に、姉妹園で実施している「木育と保育」の学びに参加し理解を深め、次年度以降の「木育ひろば」の実施を想定し、幸福度を高める計画をしていく。

### 4. 地域共生社会に向けた取り組み

新年度より障がい者の方の雇用が始まるにあたり、その方の特性を理解した上で丁寧に関わり、社会の一員として安心して働ける環境を整えバックアップする。同じ職場の仲間として、先ずはより良い関係性を構築する事を目標とする。

また昨年度に引き続き、養護学校からの実習の依頼は積極的に受け入れ、自立支援の第一歩となれるよう共生社会に向けた取り組みを行う。

### 5. 施設整備及び備品等購入計画

#### (1) 施設整備

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額	理由
特になし			

#### (2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価	数量	金額	理由
遮光用タープ	6月	20千円	5	100千円	園庭にて遮光用として利用

### 6. 部門別保育年度達成目標

#### (1) 乳児保育部門

0歳児：

- ・個人差に応じた生理的欲求が満たされ、安定した生活の中で愛着関係を築き快適に生活できるようにする。
- ・一人ひとりの発達を理解し、個々に応じた保育を行う。
- ・衛生的で安全な環境で、個々の生活リズムを大切にし基本的生活習慣を身に付ける。



#### 1 歳児：

- ・様々な経験や探索活動の中から言葉を獲得できるようにする。
- ・安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが育めるようにする。
- ・生活リズムが安定し、食事・排泄・着替えなど、生活習慣の自立の意欲を育てる。

#### 2 歳児：

- ・安全に注意し、友達との関りを大切にすると共に、自分で出来る事を増やしていきけるようにする。
- ・自然に親しみ、様々な遊びや体験を通して、色々な物への好奇心や興味を持てるようにする。
- ・一人ひとりが主体として受け止められているという安定感を得られる環境の中で自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。

### (2) 幼児保育部門

#### 3 歳児：

- ・安定した生活の中で身の回りの事に興味関心を持ち自分でやってみようとする。
- ・四季を通して、目的を持って散歩に出かけ、自然に触れ草花や小動物に関心を持ったり、言葉で伝えあったりするなど自然を通して主体的に学ぶ。
- ・一人一人が安定感を持って過ごし身近な大人に自分の気持ちを表すことができるようにする。

#### 4 歳児：

- ・基本的な生活習慣が身につき意欲的に活動に参加する。  
相手の思いに気付き、また自分の思いを言葉で伝えながら関わりを深めていく。
- ・様々な経験からできた喜びを持てる環境を作る。
- ・活動のイメージを膨らませ、見通しを持って取り組めるようにする。
- ・十分に体を動かす環境作りを心掛ける。

#### 5 歳児：

- ・友達と協力して目標に向かって取り組み、やり遂げる達成感や充実感を味わえるようにする。
- ・基本的生活習慣が身につき見通しを持って活動に参加する。
- ・自分の良さに気付き自分に自信を持てるようにする。
- ・就学に向けて、必要な生活習慣を身に付けられるようにする。

### (3) 給食部門

- ・離乳食の取り組みを丁寧に行い、個々に合った対応を保護者と連携し行う。
- ・給食衛生管理マニュアルに基づいた対応を行う。
- ・栄養士間の連携の下、給食提供時間の厳守、献立内容の工夫の実施
- ・アレルギー対応の実施
- ・食育活動を計画、実施し経験することで子どもの感性を育む。

#### (4) その他の部門

##### 【支援児（障害児）支援】

- ・個々に応じた対応を丁寧に行い、愛されている心地良さ、友達との関りの中での成長を見逃すことなく保護者と共感し協力し合う関係性を築く。

##### 【地域子育て支援】

- ・一時保育の受け入れの定着化を目指し子育て支援を行う。
- ・地域の親子がゆっくり憩える、相談しやすい環境を作り、参加者の定着化を目指す。

##### 【地域交流】

- ・幼保小交流をはじめ、年長児がスムーズな就学に向け架け橋となるよう近隣の小学校と引き続き小学校と交流を行う。
- ・近隣の保育園との交流に積極的に参加し良好な関係性を築く。

### 7. 児童数・職員数

#### (1) 入所児童数(令和7年4月1日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0歳児	0	3	3
1歳児	3	13	16
2歳児	16	0	16
3歳児	16	0	16
4歳児	16	0	16
5歳児	16	0	16
合計	67	16	83

#### (2) 職員数(令和7年4月1日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	14	0	3	0	1	1	20
嘱託職員	0	1	0	0	0	0	0	1
パート職員	0	6	2	1	0	0	0	9
障がい者人財	0	0	0	0	0	1	0	1
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0

### 8. 行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級の日	クラスごとに集い入園・進級を祝う
	クラス別懇談会（3・4・5歳）	年間の保育のねらいや予定、子どもの姿等伝え、保護者の交流を図る
	育児講座「こいのぼり作り」	地域の方を対象に保育士による制作の講座
5	幼児バス散歩	バスに乗って園外保育を楽しむ
5	クラス懇談会（1・2歳）	年間の保育のねらいや予定、子どもの姿等伝え、保護者の交

		流を図る
	ジャガイモ掘り	栽培したジャガイモの収穫体験
	園児内科健診	嘱託医による内科健診
	尿検査	3・4・5歳児対象に実施
6	プール・水遊び開き	注意事項を確認しプール・水遊びを楽しむ
	園児歯科検診	嘱託歯科医による歯科検診
	巡回訪問（港南療育センター）	保育の見学及び個別相談
7	七夕集会	七夕の由来を知り季節の行事を楽しむ
	交流保育「七夕」	地域の方を対象に七夕集会を楽しむ
	交流保育「水遊び」	地域の方を対象に水遊びを楽しむ
8	スイカ割り	スイカ割りを体験する
	夏祭り	年長児が縁日を開き、夏祭りを楽しむ
9	防災訓練	保護者引き取り訓練の実施
	プール・水遊びじまい	使用した玩具を洗い、プール・水遊びを終わる
10	園児内科健診	嘱託医による内科健診
	運動会	日頃行っている運動遊びを披露する
	交流保育「運動遊び」	地域の方を対象に、乳児クラスと運動遊びを楽しむ
	サツマイモ掘り	栽培したサツマイモを収穫し、調理体験し味わう
	ハロウィン	秋の収穫をお祝いし、ハロウィンを楽しむ
11	幼児バス遠足	バスに乗って園外保育を楽しむ
	園児歯科検診	嘱託歯科医による歯科検診
	合同防災訓練	消防署との合同訓練、煙体験ハウスや水消火器、消防服の試着等を体験
	保育参観・保育参加（乳児クラス）	保護者を招いて日頃の保育に参観・参加してもらう
	交通安全教室	ヤマト運輸による交通安全教室
12	育児講座「リース作り」	地域の方を対象に保育士によるリース作りの講座
	生活発表会（幼児クラス）	日頃行っている表現あそびを披露する
	クリスマス会	クリスマスを祝い、パーティーを楽しむ
	視聴覚検査	3歳児対象に横浜市の検査を実施
1	お正月遊び	新年を祝い、お正月ならではの遊びを体験し楽しむ
	交流保育「お正月遊び」	地域の方を対象にお正月遊びを楽しむ
	交通安全教室	交通局港南営業所による交通安全教室、バス見学
	クラス別懇談会（5歳）	スライドショーを使用した子どもの姿や活動報告 保護者の交流を図る
	巡回訪問（港南療育センター）	保育の見学及び個別相談
2	節分集会	節分の由来を知り、伝統行事を楽しむ
	交流保育「節分」	地域の方を対象に節分集会を楽しむ
	クラス別懇談会（1～4歳）	スライドショーを使用した子どもの姿や活動報告 保護者の交流を図る
	バスドライブ（1・2歳）	バスに乗って近隣ドライブを楽しむ
3	ひな祭り集会	季節の伝統行事を楽しむ
	お別れ遠足（幼児クラス）	お弁当を持ってバスに乗り園外保育を楽しむ
	お別れ会	4歳児クラスが中心となり、年長児の卒園を祝う
	卒園式	年長児クラスの卒園と保護者と祝う
毎月	誕生会	各月の誕生児を祝う
	避難訓練	月1回の避難訓練

## 9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月 1 回
カリキュラム会議	月 1 回
乳児会議	月 2 回
幼児会議	月 2 回
クラス会議	必要に応じて
リーダー会議	月 2 回
アレルギー会議	月 1 回
アルバイト会議	月 2 回

## 10. 研修計画

月	一般的な研修 (法人主催の研修会も含む)	キャリアアップ研修	内容
4	新人研修		・新入職員対象
	法人職員研修		・現場課題の発見と解決①
	法人職員研修		・木育と保育研修
	園内研修		・事故防止①(安全点検・戸外遊び) ・アレルギー対応 ・事故、ヒヤリハットの理解
5	園内研修		・マニュアル関係 ・応急処置、緊急時対応 ・夏の感染症 等
	こども青少年局		・ミドルリーダー研修
	法人職員研修		・ティーチングとコーチングを知る①
	法人職員研修		・コミュニケーション研修
	法人職員研修		・人事評価研修
6	園内研修		・事故防止②(水遊び・虫刺され) ・救命救急・心肺蘇生 ・保護者対応 等
		こども青少年局 キャリアアップ研修	・マネジメント研修 ・乳児保育分野
	園内研修		・第三者評価について
	港南区保育・教育施設 職員研修		・乳幼児健診見学体験 ・乳児わらべ歌
7		こども青少年局 キャリアアップ研修	・幼児保育分野 ・障害児保育分野
	法人職員研修		・愛着関係を育む子どものみかた
	法人職員研修		・メンタルヘルス研修
	こども青少年局		・ファシリテーション研修
8	こども青少年局		・障害児保育講座
	法人職員研修		・人事評価研修
	園内研修		・第三者委員研修（過去の振り返り）

	法人職員研修		・ティーチングとコーチングを知る②
	港南地域療育センター		・子どもの発達障害
9	こども青少年局		・障害児保育講座 ・看護職等研修・乳幼児保健研修 ・子育て支援研修
	法人職員研修		・現場課題の発見と解決②
	港南区保育教育施設 職員研修		・乳児保育
10	こども青少年局		・コミュニケーション研修 ・障害児保育講座 ・衛生管理講習会
11		こども青少年局 キャリアアップ研修	・障害児保育分野 ・食育・アレルギー対応分野
	法人職員研修		・コミュニケーション研修
	こども青少年局		・食物アレルギー講習会
	園内研修		・冬の感染症 等
	法人研修		・人事評価研修
	港南区幼保小教育交流事業		・健やか子育て後援会
12		こども青少年局 キャリアアップ研修	・保健衛生・安全対策分野 ・保護者支援・子育て支援分野
	こども青少年局		・保育所における自己評価ガイドライン 研修 ・乳児・幼児保育研修 ・リスクマネジメント研修
	横浜私立園長会		・感情マネジメントとレジリエンスへの 影響
	園内研修		・事故防止③(冬の戸外遊び)
1		こども青少年局 キャリアアップ研修	・マネジメント研修
	こども青少年局		・子どもの人権に配慮した保育研修 ・児童虐待防止研修
	園内研修		・保育の改善検討① (問題点・課題の発見・共有)
2	園内研修		・第三者評価研修 (問題点と解決について)
	港南区幼保小教育交流事業		・保育要録について
	こども青少年局		・小児医療研修
3	園内研修		・保育の改善検討③ (関係マニュアル・改善点の共有)

以上

# 令和 7 年度 阿久和キッズ 事業計画

## 1. 事業内容

- ・小規模保育事業
- ・延長保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

・令和 6 年度は園児 19 名（0 歳児 3 名、1 歳児 8 名、2 歳児 8 名）職員 11 名でスタートし、5 月に育休明け職員が加わり、12 名体制となる。職員が充足している部分が大きく、ノンコンタクトタイム、クラス会議、e ラーニングなど時間を有意義に活用し保育の質の向上に努め、進めることができた。

今年度は、子どもたちの発達に応じて、自ら進んで遊んだり、学んだりできる環境設定をテーマに保育室の環境を見直していきたい。

また、今年度も引き続き、地域に根差した、必要とされる園を目指していきたいと考える。

## 3. 重点施策

### (1) 保育の質の向上と職員間の連携

- ・保育士自らが楽しいと感じる保育を目指す。
- ・安全第一にひとつひとつ丁寧に保育を行っていく。
- ・振り返りを行い、次に生かし実行できるようにしていく。
- ・e ラーニング、ノンコンタクトタイム、クラス会議等の時間を確保し、保育について語り合い、勉強しあう体制を作る。

### (2) 保育環境の整備

- ・子どもの発達に応じた環境設定を整え、子どもの動線、遊び込める配置や玩具等準備していく。

### (3) 木育について学ぶ

- ・姉妹園で取り組みが始まっている木育活動について勉強し、子ども、保護者、地域の方々にお伝えしながら、自園の特色となるよう職員それぞれが身に付けていく。
- ・木の玩具で遊んでいると、大人も子どもにも今の時代で忘れかけている大切なことに気づくことができ、人としての脳・能力・心・感性が自然に育っていくということを実際に体感し保育に取り入れていけるよう学んでいく。

### (4) 第三者評価について知り、学んでいく。

- ・令和8年度、阿久和キッズでも第三者評価を受けるにあたり、前回は振り返り、園内研修として自園の保育を振り返り、見つめ直し勉強していく。

#### 4. 地域共生社会に向けた取り組み

##### (1)地域で必要とされる園を目指す

- ・姉妹園、連携園との交流を深める。
- ・地域交流や子育て支援に積極的に関わり、地域で必要とされる園を目指していく。
- ・「はじめの100か月の育ちビジョン」で小規模園として何ができるか模索し、少しでも貢献できるように努める。

#### 5. 施設整備及び備品等購入計画

##### (1) 施設整備

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額	理由
特になし			

##### (2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価	数量	金額	理由
保育用品棚	4月	275 千円	1	275 千円	特注家具
玩具（ままごとキッチンセット）	4月	36.8 千円	5	184 千円	環境設定
調理器具	5月	100 千円	1	100 千円	開園から10年経過

#### 6. 部門別保育年度達成目標

##### (1) 乳児保育部門

0歳児：清潔で安全な環境の中で、保育者の愛情豊かな応答的な関わりを通して愛着関係を築いていく

- ・保育者に自分の欲求を満たしてもらいながら、安心して過ごす。

1歳児：安心できる環境の中で、一人ひとりの発達や、個性を尊重してもらいながら信頼関係を築いていく

- ・保育者に見守られながら人や物に興味、関心を持ち関わりを広げていく

2歳児：保育者に思いを受けとめてもらいながら、安心して興味、関心を広げ自ら行

ってみようとする

- ・自分の思いや要求を言葉や態度で表せるようになり、要求を満たしてもらいながら楽しんで過ごす。

## (2) 給食部門

- ・安全な給食提供の実施
- ・離乳食は丁寧に一人ひとりにあった対応をしながら、保護者と連携をして提供していく
- ・アレルギー対応を確実に行う。
- ・懇談会での試食の提供、保育参加での給食試食体験
- ・食育活動を2歳児クラス担任と相談し、食材、食事に興味を持てるよう計画していく

## (3) その他

- ・姉妹園と行事の計画の段階から参加し、準備等積極的に行いコミュニケーションを図り交流を深める
- ・連携園の移動動物園等に参加し、交流を深める
- ・「せやっこまつり」に参加し準備、実際の開催を通して、他園との親睦を深める

## 7. 児童数・職員数

### (1) 入所児童数(令和7年4月1日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0歳児	0	5	5
1歳児	4	2	6
2歳児	8	0	8
3歳児	—	—	—
4歳児	—	—	—
5歳児	—	—	—
合計	12	7	19

### (2) 職員数(令和7年4月1日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	6	0	0	0	0	0	7
嘱託職員	0	1	0	1	0	0	0	2
パート職員	0	1	0	0	1	0	0	2
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0

## 8. 行事計画



月	名称	内容
4	入園・進級を祝う	新入園児、進級児をお祝いする
	4月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月1回避難訓練
	懇談会	1年間の保育の見通しやクラスの様子を伝える。保護者同士の親睦を図る
5	こどもの日の会	子どもの健やかな成長をお祝いする
	5月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月1回避難訓練
6	内科検診	園医による検診
	歯科健診	園医による健診
	6月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月1回避難訓練
	じゃがいも掘り	2歳児バスに乗ってじゃがいも掘りに行く
7	七夕の会	七夕について興味を持ち、笹飾りを披露しあう
	7月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月1回避難訓練
	すいかわり	すいかわりを体験し夏の行事を知る
8	水あそび	水に親しみ夏の行事を楽しむ
	8月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月1回避難訓練
	夏まつり	姉妹園との交流を図る
9	9月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練・引き取り訓練	防災訓練・降園時引き取り訓練
10	さつまいも掘り	2歳児バスに乗ってさつまいも掘りを楽しむ
	10月誕生会	誕生日をお祝いする
	ハロウィーン	ハロウィーンについて知り楽しんで参加する
	避難訓練	月1回避難訓練
11	内科検診	園医による検診
	歯科健診	園医による健診
	11月誕生会	誕生日をお祝いする
	親子であそぼう会	お家の方と一緒に楽しむ
	避難訓練	月1回避難訓練
12	クリスマス会	サンタクロースの登場を楽しみにし、クリスマスを楽しむ
	12月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月1回避難訓練
1	こども新年会	新しい年をみんなでお祝いする
	1月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月1回避難訓練
2	節分の会	節分について知り、鬼を追い払い、福を呼ぶ
	2月誕生会	誕生日をお祝いする

2	避難訓練	月 1 回避難訓練
	懇談会	1 年間の成長を保護者と共に振り返る
	入園説明会	重要事項などを説明する
3	ひなまつりの会	ひなまつりについて知り、桃の節句をお祝いする
	お別れ遠足	散歩を楽しみ、お弁当を食べる
	卒園式	2 歳児の卒園をお祝いする
	3 月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月 1 回避難訓練

## 9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月 1 回
カリキュラム会議	月 1 回
給食会議	月 1 回
クラス会議	2 か月に 1 回
ミーティング	毎日 13:00～

※月に一度は職員全員で「法人理念」、「保育理念」、「園目標」等の読み合せを行う。

## 10. 研修計画

月	一般的な研修 (法人主催の研修会も含む)	キャリアアップ研修	内容
4	園内研修		法人理念・保育理念・園目標
			全体的な計画について
			アレルギー対応について
	木育事前勉強会		木育について
5	園内研修		AED 救急対応
	コミュニケーション研修		中里講師
	ティーチングとコーチング		ティーチングとコーチングを知る
	瀬谷区施設長会		他施設との情報共有
	人事評価研修		
6	園内研修		嘔吐処理
		保護者支援、子育て支援	キャリアアップ研修
	木育ひろば		
	現場課題の発見と解決		植田講師
7	これから求められる子どもの育ちと保育者の専門性		井桁講師
		保健衛生・安全対策	キャリアアップ研修
	メンタルヘルス研修		中里講師
	園内研修		水遊び等安全対策

8	自己評価ガイドライン		保育所の自己評価について
		障害児保育	キャリアアップ研修
	ティーチングとコーチング		ティーチングとコーチングを知る
	人事評価研修		
	園内研修		第三者評価に向けて
9	園内研修		保育所保育指針読み合わせ
		保護者対応研修	キャリアアップ研修
	保育実践		実践に向けたリズム、手遊び等
	現場課題の発見と解決		植田講師
10	園内研修		人権について
		マネジメント研修	キャリアアップ研修
11	園内研修		不適切な保育、安全について
		障害児保育	キャリアアップ研修
	コミュニケーション研修		中里講師
	人事評価研修		
12	園内研修		事故防止研修
		保護者支援、子育て支援	キャリアアップ研修
	よこはま保育、教育宣言		
1	園内研修		横浜保育・教育宣言研修
		マネジメント研修	キャリアアップ研修
	食育研修会		安全な給食の提供について
2	園内研修		施設の自己評価について
	瀬谷区施設長会		他施設との情報共有
	園内研修		第三者評価に向けて
3	園内研修		来年度に向けて改善検討

以上